

総社流のまちづくり

発想とアイデアで総社流のまちづくりを進めています。
まちへの愛着を深めてもらうためのご当地ナンバープレートをはじめ、観光のあり方を協議した総社市観光プロジェクトからの提案の事業化、在住外国人との多文化共生を考えるソウジャブラジリアンデイなどがそれにあたります。

▼ご当地ナンバープレート 五重塔とネズミ、 まちを走る

市民に総社のまちへの愛着を深めてもらうおと50CC、90CC、125CCのバイクへ岡山県下初で「ご当地ナンバープレート」の導入を決定しました。
岡山県立大学と共同でデザインし、市民投票の結果などを基に、五重塔やレンゲをモチーフに吉備路を表現した「吉備路の五重塔」と、雪舟の逸話に登場するネズミにちなんだ「ねずみのシルエット」



1月4日、税務課の窓口で行われた「ご当地ナンバープレート」の交付



交付の始まった、五重塔と、ネズミのナンバープレート

の2種類のデザインを採用しました。交付時にはいずれかを選択する全国でも例のない「選択式ご当地ナンバープレート」です。
今年1月4日から交付を開始。2月末までに757枚が交付され、従来のものに交じり、備中国分寺五重塔が入ったものかネズミ型のご当地ナンバープレートをつけたバイクがまちを走っています。

▼ 総社の魅力を全国に発信 水戸岡デザインの のれんがそよぐ

市の観光のあり方を協議した総社市観光プロジェクトは昨年3月30日、キャッチフレーズや推進体制など具体的な24事業を提案した報告書を市に提出しました。
提案の一つ「デザインの統一化」の第一弾として、デザイナーの水戸岡鋭治さんがデザインしたのれんを昨年の9月24日から、商店街通りにある洋画家の堀和平の生家の軒に掛けています。市では、まち歩き観光で訪れた人たちに楽しんでもらえたらと考えています。
今年2月には、商店街通りの10軒にも同様ののれんが掛けられました。



商店街通りにある堀家に掛けられたのれん。茶色の地に、白で総社宮の紋や「総」をあしらっている

■きびみどりのお菓子
市の特産品きびみどりを
使ったお菓子。ショコラク
ランチとムーンケーキ、芋
あんのお餅、チーズケーキ
の4つを発売中。



■総社ドッグ
総社産の産品を2品以上
使ったホットドッグで、観
光や経済などの5団体から
なる総社ドッグ普及研究会
の認定を受けたもの。



総社の新たな名産品
総社を元気にしたい、
売り出したい。総社の
特産品や農産物を使っ
た製品が、誕生しまし
た。

▼ 多文化共生を推進 外国人と共に暮ら していけるまちに

外国人と共に手を取りあって暮らしていけるまちづくりに向けたシンボリックイベント「ソウジャブラジリアンデイ」を昨年3月27日に開催しました。
「総社市国際名誉顧問」に委嘱したカストロ・ネーベス駐日ブラジル大使を迎え、市民会館で記念フォーラムを開催。総社の多文化共生の進むべき道を考えました。
また、サンロード吉備路では、日本とブラジル双方の文化や音楽、食に触れることができる交流フェスタが行われ、多くの人でにぎわいました。



記念フォーラムで歌うブラジル人学校の子どもたち